



～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えます～

学校だより

たちばな

2023年1月31日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

春はもうすぐそこまで来ています

2月3日は節分です。二十四節気では立春は一年の始まりを意味し、その前日の節分に、家から鬼を追い出す意味で豆まきをします。では一体鬼の正体は？低学年でも教室で取り上げて子どもたちとやりとりします。「鬼は外」で、病気、けんか、いじめ、などを追い出したい、「福は内」で、みんな元気に仲良く笑顔でいられるように幸せの神さまをまねきたい、といったことが出てきます。高学年や大人になるともっと広がるとは思います。戦争や紛争が早く収まり、世界中の誰しにも平和が訪れるよう願いたいと思います。自然発生的に平和や戦争が湧き起こるのではないこと、平和な世の中をつくるために、見識を広め関心をもつことが大切です。一人ひとりが自分らしく希望をもって自己実現できる社会であること、人は一人では生きていけない、助け合っで関心を持ちあって生きることが大切であること、そのために小学校という全ての子どもが幸せになる権利があると皆が学ぶ社会があるのだと。身の引き締まる思いです。学びの形もどんどん多様化していきます。ひとり学びを選択する場合も今後はあるかもしれません。しかし常に誰もが社会の中で助け合っで生きる大切な一員であることを皆が忘れずにいなければなりません。SDGsも身近なところで考える機会が多々あると感じます。

さて、2月に入ると、学校も教育活動について振り返りの時期に入ります。今年度は、幼保小連携の取り組みをはじめ、3月に150周年を迎えるお祝いの取り組み、そして学校運営協議会も設置されました。これらを主体的対話的で深い学びにつなげるため、カリキュラムマネジメントを柱に置いて校内研究を進めてきました。一つの学習活動に複数の教科が横断的に関わり、体系的な学びとなることをねらいとしています。

相手意識をもつての学習で自己肯定感を高め、地域の中で見守られる温かさを感じて育つものだと思います。特に立花幼稚園と大西保育所園児との交流は、各学年の児童が想像以上に成長した姿を見せてくれました。地域の方から挨拶をよくしてくれるようになったと聞くことが増えました。嬉しいことです。1・17の訓練では震災当時 PTA 会長の嘉勢様に代表委員会児童が消防士としての経験をインタビューした DVD を全児童が視聴してから訓練に臨みました。2月は各学年児童が校区内の公園に出向き、感謝の気持ちを込めて清掃をします。秋の落ち葉の時期に実施予定でしたので「栗一ン作戦」と銘打っています。右に日時と公園を掲載していますので、お近くの皆様もお手すきであれば一緒に参加いただけましたらありがたく存じます。

6年生の地区バスケット大会が3年ぶりに実施となり、1月27日の校内大会では男女とも熱戦が繰り広げられました。3日は本校が会場となり立花地区8校の6年生代表学級が集まります。本校の代表学級は、学年全員の思いと学校の看板を背負って立派に戦い行動してくれることと思います。このように、今年度は行事も復活し始めました。給食の黙食解除については、本校は慎重に状況を見ながら進めています。検温もマスクも毎日各ご家庭に協力いただいておりますことに感謝いたします。おかげさまでインフルエンザも同時流行している中、本校の学級閉鎖は現在のところ出ていません。早寝・早起き・朝ごはんを季節の変わり目を取り切りましょう。

本校は、STEAM 教育や ICT 活用にも取り組んでいます。特に4年生のレゴを使った STEAM 教育プログラミング学習では、子どもたちの理解の速さと意欲に圧倒され、新しい時代の担い手であることを実感しました。

また、2月22日と24日には文化庁による子供のための文化芸術鑑賞会が採択され、プロのオーケストラによる演奏会が体育館で開かれます。

どうしたらもっと
うまく動かかな

